

氏名	河村ちひろ	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	社会福祉学				
学位	修士(社会学)				
学歴	1982年早稲田大学第一文学部英文学専攻、88年日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻・博士課程前期、日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻・博士課程後期(在学中)				
経歴	1996年新潟青陵女子短期大学福祉心理学科専任講師、2000年新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科助教授、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科准教授				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会、日本発達障害学会、障害学会、日本職業リハビリテーション学会、日本特殊教育学会、日本精神保健福祉学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	リハビリを促進する精神保健福祉サービス利用者の可能性の開発に関する研究	共著	リハビリ研究会;p.30	木村真理子、立脇恵子、河村ちひろ	2016.3
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	疾患の自己管理からセルフマネジメントあるいはリハビリへ	単著	「当事者の可能性の開発」研究会、川崎市	○河村ちひろ	2016.2
(4) その他					
1	JDサマースクール2015「戦後70年と障害者」	共著	すべての人の社会;423;p4-5	打越理恵、田中章治、河村ちひろ	2015.9
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	公益財団法人みずほ福祉助成財団 社会福祉助成金(研究助成)		リハビリを促進する精神保健福祉サービス利用者の可能性の開発に関する研究(研究分担者)		2015.2~2016.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	精神科ソーシャルワーク論Ⅱ	2015.4~2015.9	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの考え方、概念、権利擁護の意義、包括的な援助などの基本を講義した。		
2	精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	2015.4~2015.9	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの実際について事例を通じて学生が考え発言することを重視した授業を行った。		
3	精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	2015.10~2016.3	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークから見た連携と協働の実際について、学外施設見学なども含む授業を行った。		
4	精神保健福祉論Ⅰ	2015.10~2016.3	精神障害者の相談援助活動と法との関わり、支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について講義した。		
5	グローバルヘルス	2015.12	障害分野における国際動向、とりわけ国連障害者権利条約(CRPD)の意義と内容、および日本国内法への影響について講義した。		
6	精神保健支援論(博士後期課程)	2015.4~2015.9	メンタルヘルス問題をもつ人々に対する教育的支援プログラム評価、グループを用いた相互支援の評価などの研究について論じた。		
(2) 演習					
1	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2015.4~2015.9	総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげた。		
2	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2015.10~2016.3	精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉領域の支援のあり方を学生に考えさせることに重きをおいた。		
3	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	2015.10~2016.3	基本的態度の形成、基本的技能の習得に重きをおき、3年次生が次年度に実習を迎えるための準備性を高めた。		
4	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2015.4~2015.9	実習の意義を理解し、知識・技術をそれまでに学習した事項と関連付けながら考え、学生個々が自らの課題を整理させるようにした。		
5	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	2015.10~2016.3	実習終了後に学生個々の学びを整理するとともに他学生の経験を共有する中で総合的に振り返るための指導を行った。		
6	社会福祉専門演習Ⅰ	2015.4~2015.9	学生各々の関心に即して文献や資料を探索してそれらを批判的に読み、研究の問いをつくっていく過程を共有する授業を行った。		

7	社会福祉専門演習Ⅲ	2015.4～2015.9	授業では学生の研究の問いに対してどのような方法で答えを見つけ ていくかを模索する過程に重きをおいた。	
8	社会福祉専門演習Ⅳ	2015.10～2016.3	授業では学生の研究の問いに対してどのような方法で答えを見つけ ていくかを模索する過程に重きをおいた。	
(3) 実習				
1	精神保健福祉援助実習Ⅰ	2015.4～2015.9	実習第一段階として精神科の診療所・病院でのソーシャルワーク実習 を実習指導者と共に指導した。	
2	精神保健福祉援助実習Ⅱ	2015.10～2016.3	実習第二段階として地域の精神障害者支援施設または行政機関で のソーシャルワーク実習を実習指導者と共に指導した。	
3	IPW実習	2015.10～2016.3	県内基幹病院の一つを担当し、他大学医学生を含む6名の学生の実 習について病院担当者と共にファシリテートを行った。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究(学部)	2015.4～2016.3	指導: 1名	
(5) その他				
1	社会福祉学科および社会福祉子ども学科 社会福祉学全学年への履修指導	2015.4～2016.3	学科の教務運営部会員業務の一環として全学年および対するガイダ ンスで履修指導を行い、編入学生の個別相談に応じた。	
2	精神保健福祉士関連科目学生への履修 指導および資格取得支援	2015.4～2016.3	精神保健福祉士取得に関する学生からの相談に応じ、国家試験受験 に関する支援を行った。	
3	オープンキャンパス模擬授業・個別相談	2015.8	社会福祉子ども学科に関心をもつ高校生等の参加者に対して、「相談 援助入門『聴くということ』」と題する授業と個別相談を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県精神保健福祉審議会	委員	2014.8～現在	
2	埼玉県障害者介護給付費等不服審査会	委員	2013.4～2016.3	
3	埼玉県立精神保健福祉センター障害福祉 サービス事業苦情解決第三者委員会	委員	2013.4～現在	
4	NPO法人埼玉成年後見センターいきいき ネット組織運営第三者委員会	委員	2010.3～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	教育開発委員会教務運営部会 委員			
2	教員人事 資格審査委員会 委員(2016.2)			
3	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 学会誌編集委員会 委員			
4	社会福祉子ども学科 精神保健福祉士関連科目履修者選考委員会 委員長			
5	社会福祉子ども学科 丸山一郎記念研究・活動奨励賞運営委員会			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			